

事 項	露地ねぎの秋・冬まき夏どり栽培法																				
ね ら い	<p>近年、県産のねぎは市場で高評を得ており、生産量の増加が望まれている。しかし、県内のねぎの作型は、露地の春まき栽培がほとんどであるため収穫期間が限られ、収穫調整作業の労働力がねぎの作付面積を制約する大きな要因となっている。単一作型ではこれ以上の生産拡大が困難であることから、新作型を開発し、収穫期間を拡大することによって、収穫調整労力の分散と長期出荷体系の確立を図るための試験を実施した結果、従来より約2か月間収穫期間を前進する栽培方法を確立したので普及に移す。</p>																				
指 導 奨 励 内 容	<p>1 作 型</p> <table border="1" data-bbox="470 607 1107 878"> <thead> <tr> <th></th> <th>播 種 期</th> <th>定 植 期</th> <th>収穫始め期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">秋まき</td> <td>10月中旬</td> <td>3月中旬</td> <td>7月中旬</td> </tr> <tr> <td>11月中旬</td> <td>4月中旬</td> <td>8月下旬</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冬まき</td> <td>1月下旬</td> <td>3月下旬</td> <td>8月中旬</td> </tr> <tr> <td>2月下旬</td> <td>4月下旬</td> <td>8月下旬</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 品 種 品質が良く、収量が安定し多収である「元蔵」を用いる。</p> <p>3 育 苗 播種、定植作業が省力的で、ハウス内で集約的な育苗管理ができるチェーンポット育苗とする。</p> <p>4 播種量 L級以上の割合を高めるため、1ポット当たりの播種粒数は2粒、又は2粒と3粒の交互播種とする。</p> <p>5 育苗管理 ハウス内トンネル無加温育苗とする。 ただし、秋まき栽培では、11月中旬までハウス内のトンネル被覆は不要である。また、冬まき栽培では、発芽を斉一にするため出芽時に加温する。</p> <p>6 定植後の管理 生育促進のため、農ポリ小型トンネル又は不織布べたがけで定植直後から被覆する。除覆時期は農ポリ小型トンネルでは4月20日前後、不織布べたがけは5月10日前後とする。</p>				播 種 期	定 植 期	収穫始め期	秋まき	10月中旬	3月中旬	7月中旬	11月中旬	4月中旬	8月下旬	冬まき	1月下旬	3月下旬	8月中旬	2月下旬	4月下旬	8月下旬
	播 種 期	定 植 期	収穫始め期																		
秋まき	10月中旬	3月中旬	7月中旬																		
	11月中旬	4月中旬	8月下旬																		
冬まき	1月下旬	3月下旬	8月中旬																		
	2月下旬	4月下旬	8月下旬																		
期待される効果	従来作型との組み合わせで、約4か月（従来の2倍）の長期出荷が可能になる。これにより、収穫調整にかかる労働力の分散と作付面積の拡大が可能になる。																				
普及上の注意事項	<p>1 秋まき栽培の定植日は、天候（降雪）、圃場条件及び苗質等を総合的に判断して定植日を決定する。なお、10月播種の苗は、定植が遅れると根がらみが強くなり、定植困難となることがあるので、根域制限資材の利用等の防止対策をする。</p> <p>2 砂丘地での検討結果であるので、地域にあわせた栽培管理を徹底する。</p>																				
担 当	青森県農業試験場 砂丘分場	対 象 地 域	県下全域																		
発 表 文 献 等	平成8～10年度 青森県農業試験場試験成績概要集 平成8、10年度 指導奨励事項・指導参考資料																				

【根拠となった主要な試験結果】

表1 チェーンポットにおける1ポット当たり播種粒数と収量・品質 (平成10年 青森農試砂丘分場)

播種日 定植日 収穫日	播種粒数 ¹⁾	調整重 (g/本)	本数 (本/m ²)	収量 (kg/a)	軟白部 の太さ (mm)	生産量(箱/10a) ²⁾				
						2L	L	M	S	計
11/20	2粒	136	36	490	16	0	934	175	20	1,128
4/7	2粒3粒	113	47	531	15	0	852	485	40	1,378
8/17	3粒	105	51	535	13	0	566	775	60	1,401
2/3	2粒	144	34	490	15	39	721	251	31	1,042
4/7	2粒3粒	107	45	482	14	0	648	588	41	1,277
9/7	3粒	98	51	500	12	0	294	858	157	1,309
2/26	2粒	126	38	479	14	0	685	385	41	1,111
4/17	2粒3粒	98	41	402	13	0	358	684	58	1,100
9/7	3粒	89	46	409	12	0	175	941	63	1,178

注) 1): 播種粒数の「2粒3粒」は、1ポット当たり2粒と3粒を交互に播種した。
 2): 生産量は、軟白部の太さの基準(2L:21~25mm、L:15~20mm、M:10~14mm、S:10mm未満)で分類し、2L2本束、L3本束、M4本束、S5本束としてそれぞれ10束で1箱(3kg箱入)として算出した。
 なお、定植日から5月11日まで不織布べたがけによる被覆をした。

表2 被覆方法・播種・定植期と苗質・収量・品質 (平成10年 青森農試砂丘分場)

被覆方法	播種日	定植日	収穫日	苗質			収量・品質				規格別本数割合(%) ²⁾			
				草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	根が ¹⁾ らみ	軟白長 (cm)	調整重 (g/本)	本数 (本/m ²)	収量 (kg/a)	2L	L	M	S
農ポリ 小型 トンネル	11/20	3/19	7/14	18	2.0	弱	27	84	50	421	0	48	45	7
		3/27	7/24	19	2.0	弱	29	93	53	495	4	60	28	8
		4/7	8/10	23	2.5	中	28	107	44	470	0	50	36	14
		4/17	8/20	21	2.3	中	36	103	46	472	4	56	33	7
不織布 べたが け	11/20	3/19	7/14	18	2.0	弱	27	72	55	397	0	28	65	7
		3/27	7/24	19	2.0	弱	28	95	52	494	2	58	34	6
		4/7	8/10	23	2.5	中	30	106	46	487	0	33	61	6
		4/17	8/20	21	2.3	中	33	105	51	533	0	33	61	6
	1/30	3/27	8/30	16	1.7	弱	33	114	50	570	0	60	40	0
		4/8	8/30	15	2.0	中	34	121	49	590	10	65	21	4
	2/26	4/17	8/30	17	1.7	弱	31	87	57	493	0	48	47	5
		4/28	8/30	19	1.9	中	31	86	52	447	0	38	58	4

注) 1): 根がらみは、弱・中・強の3段階で評価した。
 2): 規格別本数割合は、軟白径より以下の基準で分類した。
 2L:21~25mm、L:15~20mm、M:10~14mm、S:10mm未満
 なお、全区とも播種粒数は3粒/ポット、定植日から5月11日まで被覆をした。

表3 被覆期間と生育量 (平成10年 青森農試砂丘分場)

被覆方法	被覆期間 (始-終)	初期生育(5/10調査)			最終培土時の生育(7/8調査)			
		草丈 (cm)	葉数 (枚)	葉鞘径 (mm)	全長 (cm)	全重 (g/本)	葉鞘長 (cm)	軟白部の 太さ(mm)
農ポリ 小型 トンネル	3/25-4/20	36	3.6	8.0	79	158	27.0	13
	3/25-4/30	35	3.8	7.6	75	143	25.9	14
	3/25-5/10	39	3.9	8.2	70	91	21.3	12
不織布 べたが け	3/25-4/20	36	3.7	7.5	75	143	25.1	13
	3/25-4/30	38	3.7	7.4	76	132	25.3	13
	3/25-5/10	43	4.0	8.0	81	143	26.5	13

注) 定植日: 3月24日